

期指導計画 2歳児

Ⅱ期		6月～8月	
園児の姿 (発達の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○開放感を味わいながら裸足になって、土や泥の感触を楽しんだり、運動遊具を使って伸び伸びと体を動かして遊んだりすることを楽しんでいる。 ○好きな遊びを見つけ、友達と一緒にごっこ遊びや見立て遊びをして遊ぶことを楽しむようになる。物の貸し借りでトラブルになることもあるが、自分の思いを言葉やしぐさで伝えられるようになってきている。 ○夏の自然現象に触れながら、夏ならではの遊びに興味を持ち、心地よさや面白さを感じながら遊ぶことを喜んでいる。 		
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から体を動かし、やってみようとする。 ○安心して自分の思いや欲求を伝え、言葉で表現する。 ○夏の自然や遊びを通して、友達のしていることに興味をもって遊ぶ。 		
養護	<p>経験させたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動と休息のバランスに留意しながら、健康で快適に過ごせるようにする。 ●子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して言葉や態度で表出できるようにする。 ●保育教諭に見守られながら、自分のすることが分かり、できることは自分でしようとする。 	<p>環境構成・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆快適に過ごせるよう、休息や水分補給やシャワーの時間を作ったりや環境作りを行ったりする。 ◆いつでも自分の気持ちを保育教諭に伝えられるように、子どもの気持ちや訴えを聞いて受け止め、安心できる雰囲気を作る。 ◆出来ることが増える喜びを味わえるように、やってみたいと思えるような環境作りを行う。 ★暑替えや水分補給を必要に応じて行い、休息と活動のバランスに気を付ける。 ★子ども同士のおつきあいは様子を見守り、両者の思いを十分に受け止め、言葉にして伝える。 ★時間を十分にとりゆったりと関わっていき、自分でしようとする気持ちを大切にしていく。 	
教育・保育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感を感じながら、プール遊びや運動遊びなど、ダイナミックに体を動かして遊ぶ。(健康) ・保育教諭を仲立ちとしながら、気の合った友達と一緒に遊ぶ。(人間関係) ・身近な自然や素材(水・泥・泡など)に触れることを喜んだり、試したりして遊ぶ。(環境) ・自分の思いを言葉で伝えようとし、気持ちが通い合う心地よさを感じる。(言葉) ・見立てやごっこ遊びを通してイメージの世界を楽しむ。(表現) 		
予想される活動			
保育資料 (教材・絵本等)	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本(やさいのおなか、うんちがぼとん、しまうまのパンツ、10びきのかえる、こぐまちゃんのみずあそび、) ○歌(かえるのがっしょう、かたつむり、とけいのうた、長靴マーチ、たなばた、アイスクリーム、みずあそび、おばけなんてないさ) ○手遊び(あがりめさがりめ、きゅうりはきゅ、カレーライス、さかながはなて、ワニのおやこ、かみなりドンドン) ○制作(あじさい・カエル・七夕飾り・カニ・クワガタ) ○運動遊び(プール・サーキット) ○菜園活動(オクラ・ピーマン・サツマイモ) 		
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の衛生指導集会 ・さつま芋の苗植え ・歯科検診 ・プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕集会 ・個人懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ・の集い ・園祭り ・夏祭り
健康・食育・安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の畑の栽培物(オクラ・ピーマン・サツマイモ)の生長を知らせ、関心を持てるようにする。 ・栽培した物を調理して食べ、食への意欲や関心につなげていく。 ・夏に多い皮膚疾患や感染症をおたよりで知らせ、症状が見られた時には早目に対応してもらおう。 ・夏の疲れが出やすい時期なので、食欲や体調など細かに伝え合い、生活リズムを整えて健康に過ごせるようにする。 		
家庭の連携・保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の感染症について症状や予防法、感染時の園の対応について連携を持つ。 ・安全で健康的にプール遊びに参加できるように、連絡ノートを通して家庭との連携をとり、健康状況に留意する。 ・暑替えが頻繁になるので、衣服の記名や着脱しやすい衣服について連携を持つ。 ・個人懇談では、子どもの成長を保護者と共に喜び合い、家庭の様子や子育ての悩みなどをしっかりと聞き、丁寧に応じていく。 		
地域・小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加したり、散歩にでかけたりして、地域に親しむ。 ・夏祭りに1年生を招待し、交流を持つ。 ・の集いに地域の方()に来てもらい、読み聞かせをしてもらう。 【地域散策】・の集い(砂の感触を楽しむ、貝殻やシーグラス拾い、海の生き物探し)・あじさい畑(梅雨期の花を知る) 		
ねらいに対する評価	<p>春から続いている生き物を見つけて飼育したりする実体験からイメージが広がり、表現するおこなが、表現遊びやごっこ遊びへとつながっていた。一人一人が興味のある遊びを楽しむようになった。子どもから新しい遊びを取り入れることで遊びが広がっていた。一人一人の姿から遊びを再構成することで遊びが広がり、友達とのやり取りを楽しんだり相手の思いや優しい姿が見られるようになってきている。一人一人の気持ちを丁寧に受け止めていたことで安心や言葉につながってきている。</p>		